

図書館だより

第３号　令和８年　７月　１日
石　岡　一　高　図　書　館

お知らせ

今年も図書館に七夕飾りを用意します！短冊もたくさんありますので、ぜひ飾りつけに来てください。短冊といえば五色ですが、色にもいろいろな意味が込められているのを知っていますか？

５つの色とは、青、赤、黄、白、黒のことで、中国の陰陽五行説という考え方に由来しています。陰陽五行説とは、自然界のすべてのものを木、火、土、金、水の５つにあてはめて説明することができるという考え方です。そして、陰陽五行説によればこの５つの色にも意味があり、青(緑)は木、赤は火、黄は土、白は金、黒(紫)は水を表しているといいます。

日本では、好まれない黒の代わりに高貴な色とされる紫へ。また、昔は緑を「あお」と呼んでいたことから緑へ変化したとされています。

緑　→　人間力を高める・徳を積む

赤　→　祖先や親に感謝する気持ち

黄　→　人を信じ大切に思う気持ち

白　→　義務や決まりを守る気持ち

紫　→　学力の向上を願う気持ち



図書委員からのお薦めの本

「さよならの言い方なんて知らない」　河野　裕　著

「１０００人の高校生が異能力で領土を奪い合う」という王道の設定でありながら、本作の魅力は緻密に計算された「頭脳戦」にあります。主人公である香屋は決して強力な能力を持ちません。しかし、卓越した観察眼と心理戦を武器に、圧倒的な強さを誇る敵たちを翻弄していく姿に鳥肌がたちます。

１ヶ月がループする謎の街「架見崎」の秘密や、かつての親友との因縁など予想を裏切る展開の連続でページをめくる手が止まりません。

単なるバトル小説の枠を超えて、切ない青春や命の重さを丁寧に描いた作品です。

ぜひ図書館で１巻を手に取ってみてください！！

